

Q 1

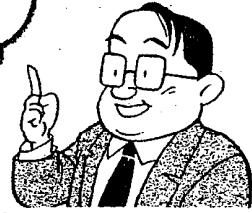
子供と面接をする際の基本的な態度や方法について教えてください。

A 基本的な態度と姿勢、面接の流れを紹介します。

基本的態度・姿勢

- いつも親和的、肯定的な態度で応じ、思いやりの気持ちをベースにもつことです。
- 話の内容に耳を傾けるだけでなく、気持ちを理解します。相手の気持ちになって、共感的に受容します。
- 話の内容に対する一方的な質問や批評・批判にならないようにします。
- 安易に一般的な大人の価値基準によって説論したり、訓戒したりしないことです。
- 子供の性格傾向は簡単に変えられるものではないことを理解した上で接することです。
- 仕事が忙しくても、話を先回りしたり、結論を急いだりしないことです。
- 事実関係だけを明らかにし、事のよしあしを判断せず、心理的内面を理解します。

この先生は自分の気持ちをよく分かってくれる先生だ。



面接の具体的方法および姿勢・態度・言葉

- ① 子供にとって安心して話せる場所を設定し、「この時間は、あなたのために用意されたものです。」ということをはっきり伝えます。【契約】
- ② 子供に対して、「なるほど。」「そう。」「うーん。」など簡単な表現で、感情や気持ちを受け止めます。【受容、無条件の肯定的理解】
- ③ 秘密の保持は十分にされることをきちんと伝えます。必要がある場合でも、本人の了解なしには、他に話さないことです。【秘密保持】
[具体例]「ここで話されたことは誰にも口外しません。もし、伝えてほしいことがある場合には、教えてください。私の方で他の人に伝えたいことがある場合には、あなたの許しをもらうからね。それ以外は口外しないよ。」
- ④ 個人面接（相談）の最初の出会いを大切にします。【かかわり行動】
[具体例]「今日は来てくれてありがとう。あなたと会えてうれしいです。さあ、何でも話して一緒に考えていこう。先生ね、精一杯手伝うよ。」
- ⑤ 本人自身の洞察がしやすくなるように、また、事実・実感に即して考えやすくなるように、感情を整理し、明らかにします。【感情の明確化、反映、反射】
[具体例]「誰もあなたの気持ちを聞いてくれなくて、寂しかったんだね。あなたは友達から嫌われているような気がするのかな。弟には優しく、あなたばかりが叱られて腹が立っているんだね。」
- ⑥ 「最初は慣れないから話しにくいでしょう。」などと共感的に受け止めます。【受容】
[具体例]「あなたにとって、つらいことであれば話さなくてもいいよ。今、心に浮かんだことを話してくれればいいのよ。ゆっくりと考えていいんだよ。」